



# ローカル5Gの利活用 ～地域交通への期待～

2025年10月15日

地域BWA推進協議会

BWA推進部会長 中村 光則

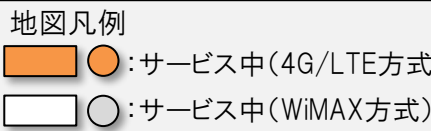
# 地域BWAとは・・・地域単位のモバイル通信システム＆制度

- 2.5GHz帯で4G/LTEを展開中（今後は5G化も進む）

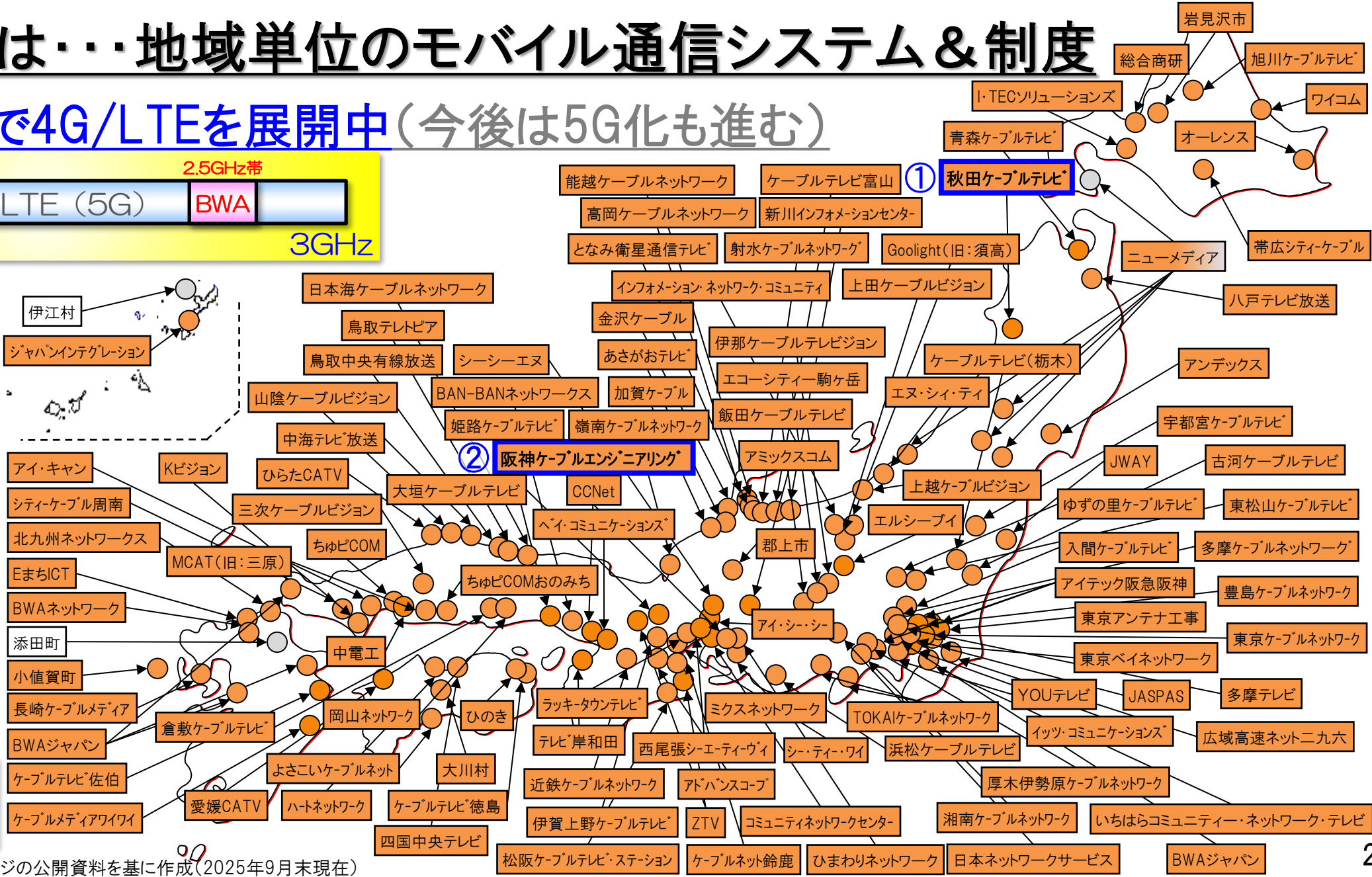


全国で  
113事業者  
(320自治体)

人口カバー  
エリア:55%



※) 出典: 総務省・電波利用ホームページの公開資料を基に作成(2025年9月末現在)



# 【事例紹介①】地域移送車のローカル5G活用(秋田ケーブルテレビ)

## 『ローカル5Gと地域イントラネット利活用による地域移送サービスの効率化』 (秋田県上小阿仁村)

□ 電磁誘導線カートを活用した自動運転住民移送サービス『こあにカー』を2019年より1台導入(乗務員1名、3ルート)...

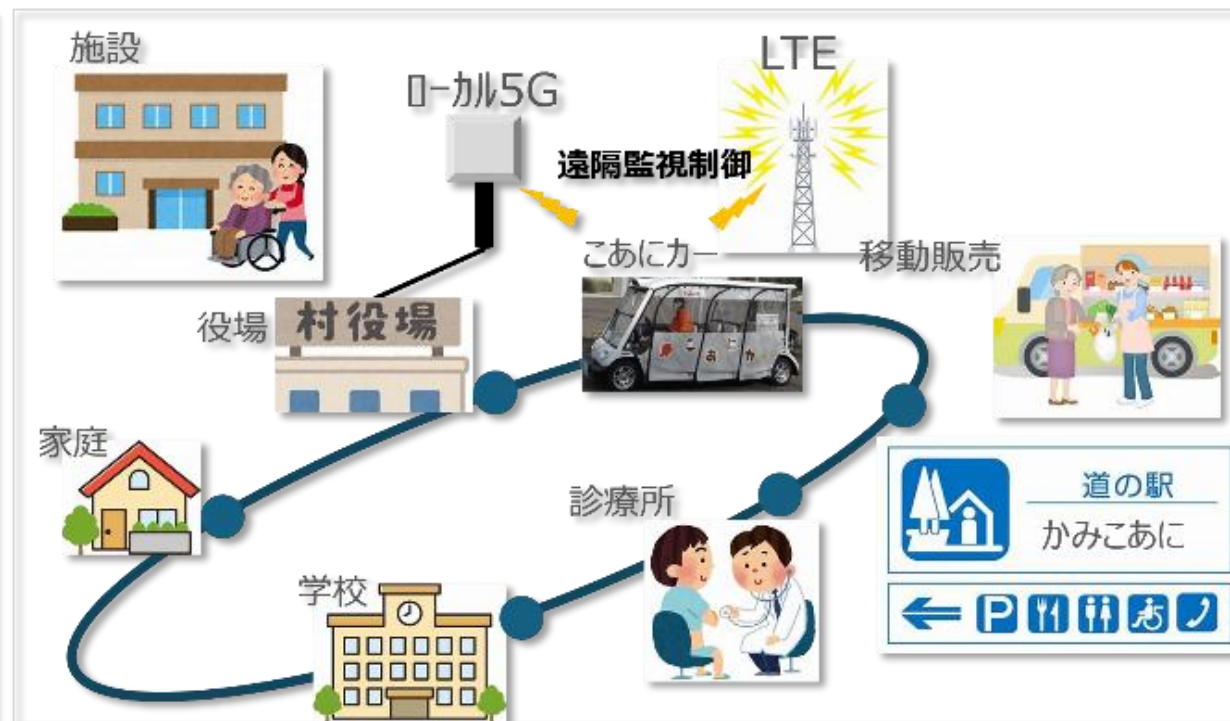
担い手不足(台数増等), 効率化,  
コスト削減等の課題対策として...

レベル4自動運転  
に向けた取組み

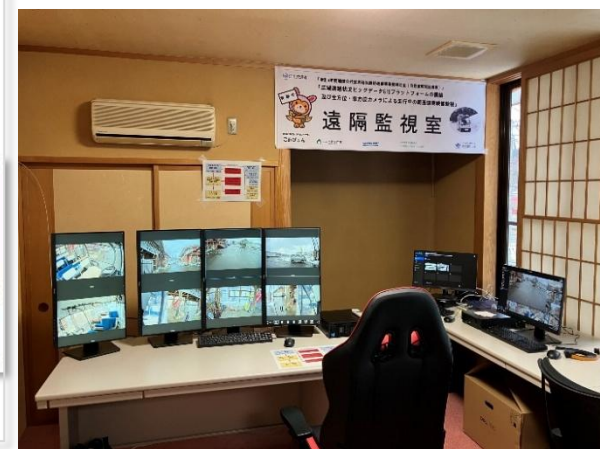
遠隔監視(操作)が必須

携帯キャリアの弱電界エリア  
安定した通信の確保

LTEボンディング+ローカル5G  
安定した遠隔監視を実現



将来のイメージ



遠隔監視拠点(道の駅かみこあに)



## 【事例紹介②】細長い自己土地のローカル5G活用（阪神ケーブルエンジニアリング）

- ローカル5Gの鉄道利用による運営の効率化・維持と、線路外漏れ電波を活かした沿線の自治体インフラ点検の同時活用（兵庫県西宮市）

□ 本来は線路外に漏らしてはいけない電波を、近隣地域で有効活用してもらう方策

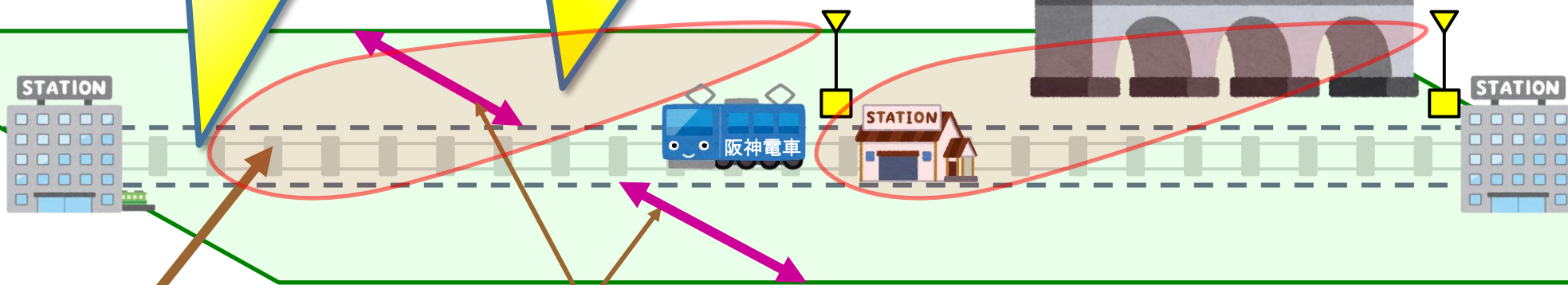
### 【鉄道運営の課題解決】

線路上・駅舎等で  
鉄道運営の省力化・省人化

### 【地域の課題解決】

沿線エリア（線路外・上空）で  
“まちづくり”に資する利活用

“漏れ電波”活用の実証では、  
自治体管理の『橋りょう』点検  
に、ローカル5Gのドローン提供  
で支援



自己土地エリア

ローカル5Gのカバーエリア（電波漏れエリアは、地上と上空に広がる）



ローカル5G基地局  
（線路上の設置例）



地域BWA推進協議会



Regional BWA Promotion Association